

科目名	卒業制作							年度	2025
英語科目名	Graduation Research & Diploma Design							学期	後期
学科・学年	建築設計科・2年次	必／選	必修	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	小林 郁夫		教員の 実務経験	あり	実務経験の 職種		建築設計		
<b>【科目の目的】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不特定多数の利用者を対象とした公共性の高い建築物を設計できる</li> <li>・地域の特性をいかして、快適で機能的な公共建築物を計画できる</li> <li>・調査・分析を通して今抱えている問題点を探し、独自の提案をすることができる</li> </ul>									
<b>【科目の概要】</b> <p>建築行為が社会に与える影響や役割を考えながら、公共建築物を計画する力を習得することを目的とする。2年間学習したすべての知識（計画・施工・構造・法規など）を活用し、自ら計画した建築物が機能的で安全、かつ世の中への発信することの意義を学ぶ。</p>									
<b>【到達目標】</b> <p>A. 敷地周辺、地域の特性などを様々な角度から調査・分析・検討し、建築物を計画ができる  B. 表現する方法・作品をまとめ上げる力を習得することができる  C. さまざまな考えや意見をくみ取り、建築物を計画ができる</p>									
<b>【授業の注意点】</b> <p>評価はルーブリックにもとづいて行い、提出図面の理解度・内容において評価を行う。  学生による積極的な教え合いを実行する。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討し、設計に反映させて機能的な建築物を計画できる		敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討の重要性を理解している		敷地周辺、地域の特性などを調査・分析・検討することができない				
到達目標 B	表現する方法を理解し、作品をプレゼンシートにまとめ上げることができる		表現する方法を理解し、作品をプレゼンシートにまとめ上げることを理解している		表現する方法を理解し、作品をプレゼンシートにまとめ上げることが難しい				
到達目標 C	さまざまな考えや意見をくみ取ることの重要性を理解し、建築物を計画ができる		さまざまな考えや意見をくみ取ることの重要性を理解している		さまざまな考えや意見をくみ取ることの重要性を理解する姿勢がない				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b>									

【参考資料】

その他配布資料

【成績の評価方法・評価基準】

成果品等で評価する  
出欠席および授業の通り組み姿勢で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		卒業制作			年度	2025	
英語表記		Graduation Research & Diploma Design			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	課題・概要説明	テーマと敷地選定を理解している	1	テーマ	社会問題＝テーマから建築を考える重要性を理解している	1	
			2	敷地調査	敷地選定の重要性を理解している		
			3	用途検討	テーマに沿った用途選定ができる		
2	エスキス	類似施設・類似のテーマなどを調査ができる	1	類似施設調査	類似施設の調査や分析の重要性を理解している	1	
			2	類似テーマ	類似テーマの調査や分析の重要性を理解している		
			3				
3	エスキス	コンセプトを明確に表現する	1	コンセプト	コンセプトを明確に言葉で表現できる	1	
			2	考察	コンセプトと調査・分析内容から考察できる		
			3	エスキス	考察した内容を基に、明確に建築物を計画できる		
4	エスキス	コンセプトを明確に表現する	1	エスキス	考察した内容を基に、明確に建築物を計画できる	1	
			2	計画・法規	建築計画や法規の基本を押さえて計画できる		
			3	構造	構造を踏まえて自由な計画ができる		
5	エスキス	コンセプトを明確に表現する	1	エスキス	考察した内容を基に、明確に建築物を計画できる	1	
			2	計画・法規	建築計画や法規の基本を押さえて計画できる		
			3	構造	構造を踏まえて自由な計画ができる		
6	中間発表	テーマの趣旨・内容を理解し計画できる	1	スケジュール	スケジュールを守り、計画できる	2	
			2	コンセプト	緒条件を整理しコンセプトをまとめ上げ、計画できる		
			3	機能・動線	機能と利用者動線を理解し、計画できる		
7	エスキス	中間発表での問題点を解決できる	1	エスキス	指摘された内容を基に、的確に建築物を計画できる	1	
			2				
			3				
8	作図制作	図面の整合性	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備・法規	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3				
9	作図制作	図面の整合性	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備・法規	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3				
10	作図制作	図面の整合性	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備・法規	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3				
11	作図・模型制作	図面の整合性・模型の丁寧さ	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備・法規	図面上に構造・設備などの表現ができる		
			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる		
12	作図・模型制作	図面の整合性・模型の丁寧さ	1	図面	図面の整合性が取れている	1	
			2	構造・設備・法規	図面上に構造・設備などの表現ができる		

			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる	
13	プレゼン・模型制作	プレゼンシートをまとめることができる	1	図面	図面の整合性が取れている	1
			2	プレゼンシート	グリッドに則って見やすく伝わりやすい表現ができる	
			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる	
14	プレゼン・模型制作	プレゼンシートをまとめることができる	1	図面	図面の整合性が取れている	1
			2	プレゼンシート	グリッドに則って見やすく伝わりやすい表現ができる	
			3	模型	丁寧に模型を押し上げることができる	
15	長期課題最終提出	作品を展示し、図面や模型の表現力などを確かめる	1	提出物の完成	提出物に過不足なくつくり、期限内に提出している	3
			2	設計内容	自らのコンセプトを基に、明確に計画し表現できる	
			3	他作品の評価	他者の作品を見て、評価および共感ができる	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						